

景況レポート

No.141

2022年10月～12月期



北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東1丁目2番地1
電話(代) 0157-24-7531
URL: <http://www.shinkin.co.jp/kitami/>
本レポートはホームページでもご覧になれます。

景気動向

道内景気

日本銀行札幌支店が12月14日に発表した12月の企業短期経済観測調査結果(短観)によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数(DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値)は全産業で5となり、前回の調査『3』から改善しました。内訳では、製造業(前回▲6→今回2)は改善、非製造業(前回5→今回5)は横ばいでした。2023年3月までの全産業での先行き予測は▲8と、悪化の見通しです。

また、12月14日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、緩やかに持ち直している。個人消費は、緩やかに持ち直している。観光は、全体としては、緩やかに持ち直している。設備投資は、緩やかに持ち直している。公共投資は、高水準ながら弱めの動きとなっている。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内の動きとなっている。輸出は、緩やかに増加している。雇用・所得情勢をみると、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに改善している。

- ・ 公共工事請負金額は、高水準ながら、弱めの動きとなっている。
- ・ 個人消費は、百貨店、サービス消費は、緩やかに持ち直している。スーパー、ドラッグストアは、底堅い動きとなっている。コンビニエンスストアは、緩やかに増加している。家電販売は、横ばい圏内の動きとなっている。乗用車販売は、下げ止まっている。
- ・ 観光は、全体としては、緩やかに持ち直している。
- ・ 新設住宅着工戸数をみると、持家は、減少している。貸家は、下げ止まりつつある。分譲は、持ち直しの動きが一服している。
- ・ 生産(鉱工業生産)は、横ばい圏内の動きとなっている。主要業種別にみると、食料品では、持ち直しの動きが一服している。輸送機械、電気機械では、横ばい圏内の動きとなっている。紙・パルプでは、下げ止まっている。
- ・ 雇用・所得情勢をみると、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに改善している。
- ・ 消費者物価(除く生鮮食品)は、前年比が前月を上回った。
- ・ 企業倒産は、低水準で推移している。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲9と10ポイントの悪化、収益も▲21と3ポイントの悪化でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は▲32、収益DI値は▲36と、季節要因も加わって悪化の見通しとなっています。

特別調査【2023年（令和5年）の経営見通し】

当地方における2023年の経営見通しをお尋ねしました。

【日本の景気】

「良い」の回答合計は6.7%となり、昨年の調査(14.5%)から減少しました。一方、「悪い」の回答合計は75.1%となり、昨年の調査(66.5%)から増加しています。「普通」は昨年の調査と同程度でした。

【自社の業況】

「良い」の回答合計は11.7%（昨年14.6%）、「悪い」の回答合計は57.8%（昨年61.4%）となり、いずれも昨年の調査から減少しました。「普通」は30.6%（昨年24.0%）となり、昨年の調査から増加しています。

【売上額の伸び率】

「増加」の回答合計は22.9%（昨年26.8%）、「減少」の回答合計は42.7%（昨年44.7%）となり、いずれも昨年の調査から減少しました。「変わらない」は34.4%となり、昨年の調査(28.5%)から増加しています。

昨年と同様に、「減少」の回答合計が「増加」の回答合計を上回っています。

【自社の業況が上向き転換点】

「すでに上向きしている」は11.2%となり、昨年の調査(7.8%)から増加しました。

また、「業況改善の見通しは立たない」は32.4%となり昨年の調査と同じでした。

【2023年の自社にとっての経営リスク】

「原材料・仕入価格のさらなる高騰」が82.2%と最も多く、次いで「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」が51.7%となり、いずれも全国の結果を上回っています。仕入価格のさらなる高騰を警戒する企業の姿が浮き彫りとなりました。

「コロナなど感染症の感染再拡大」が34.4%と3番目に多くなっており、コロナ禍発生から3年近く経過した今もなお、地域経済にとっての大きな脅威・リスクとなっています。

【貴社では、2023年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. 非常に良い	0.0%	0.1%
2. 良い	1.1%	1.3%
3. やや良い	5.6%	7.3%
4. 普通	18.3%	24.7%
5. やや悪い	43.9%	44.8%
6. 悪い	25.6%	19.4%
7. 非常に悪い	5.6%	2.4%

【貴社では、2023年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. 非常に良い	0.0%	0.2%
2. 良い	0.0%	1.7%
3. やや良い	11.7%	10.5%
4. 普通	30.6%	42.7%
5. やや悪い	41.7%	34.4%
6. 悪い	12.8%	9.0%
7. 非常に悪い	3.3%	1.4%

【2023年において貴社の売上額の伸び率は、2022年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. 30%以上の増加	0.6%	1.1%
2. 20~29%の増加	0.6%	1.7%
3. 10~19%の増加	5.0%	9.2%
4. 10%未満の増加	16.7%	20.2%
5. 変わらない	34.4%	40.5%
6. 10%未満の減少	23.3%	17.7%
7. 10~19%の減少	12.8%	6.8%
8. 20~29%の減少	4.4%	1.8%
9. 30%以上の減少	2.2%	1.0%

【貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。】

《全国》		
1. すでに上向きしている	11.2%	14.4%
2. 6か月以内	6.7%	9.7%
3. 1年後	16.8%	19.7%
4. 2年後	14.5%	15.3%
5. 3年後	11.2%	11.6%
6. 3年超	7.3%	7.4%
7. 業況改善の見通しは立たない	32.4%	21.9%

【2023年の事業環境を展望したとき、貴社にとっての経営リスクは何ですか。最も当てはまるものを1~0から3つ以内で選んでお答えください。】

《全国》		
1. 原材料・仕入価格のさらなる高騰	82.2%	79.3%
2. 原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰	51.7%	40.9%
3. コロナなど感染症の感染再拡大	34.4%	31.3%
4. ロシア・ウクライナを含む海外情勢の緊迫化	17.2%	14.0%
5. 台風・豪雨・地震・噴火などの自然災害	2.8%	6.6%
6. 取引先廃業等による売上げ激減	13.9%	11.5%
7. 経営者や従業員の健康問題	13.9%	10.7%
8. コロナ融資の返済	11.7%	8.9%
9. 円安・インフレの加速	14.4%	20.3%
0. その他	2.8%	2.3%

売上

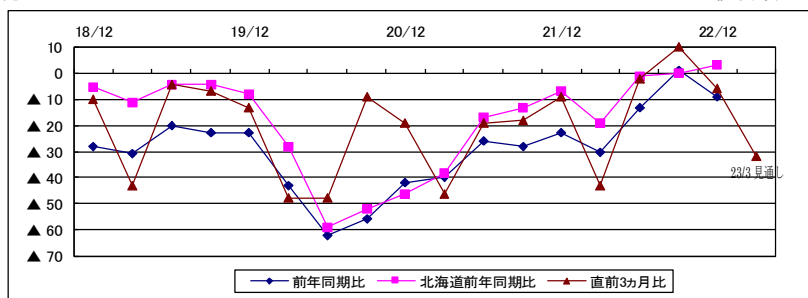
調査対象先企業 181 社の売上を総体的にみますと、前年同期（21 年 10～12 月）と比較して「増加」した先 26%、「変わらず」の先 39%、「減少」した先 35%で、その D I 値（増加割合－減少割合）は▲9 となり、前回調査より 10 ポイント悪化しました。

業種別で見ますと、卸売業は改善、小売業・建設業・サービス業は悪化、製造業は横ばいとなっています。

3 カ月毎の比較では悪化、今後 3 カ月も悪化の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

売上 D I 値 図表



調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12
前年同期比	▲28	▲31	▲20	▲23	▲23	▲43	▲62	▲56	▲42	▲40	▲26	▲28	▲23	▲30	▲13	1	▲9

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12
北海道前年同期比	▲5	▲11	▲4	▲4	▲8	▲28	▲59	▲52	▲46	▲38	▲17	▲13	▲7	▲19	▲1	0	3

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	
直前3ヵ月比	▲10	▲43	▲4	▲7	▲13	▲48	▲48	▲9	▲19	▲46	▲19	▲18	▲9	▲43	▲2	10	▲6	▲32

収益

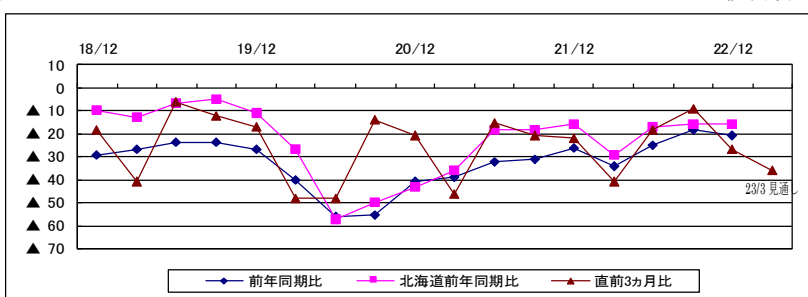
調査対象先企業 181 社の収益を総体的にみますと、前年同期（21 年 10～12 月）と比較して「増加」した先 18%、「変わらず」の先 43%、「減少」した先 39%で、その D I 値（増加割合－減少割合）は▲21 となり、前回調査より 3 ポイント悪化しました。

業種別で見ますと、卸売業は改善、製造業・小売業・サービス業は悪化、建設業は横ばいとなっています。

3 カ月毎の比較では悪化、今後 3 カ月も悪化の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。

収益 D I 値 図表



調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12
前年同期比	▲29	▲27	▲24	▲24	▲27	▲40	▲56	▲55	▲41	▲39	▲32	▲31	▲26	▲34	▲25	▲18	▲21

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12
北海道前年同期比	▲10	▲13	▲7	▲5	▲11	▲27	▲57	▲50	▲43	▲36	▲18	▲18	▲16	▲29	▲17	▲16	▲16

※前年同期比の来期見通しは調査しておりません。

調査時期	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	
直前3ヵ月比	▲18	▲41	▲6	▲12	▲17	▲48	▲48	▲14	▲21	▲46	▲15	▲21	▲22	▲41	▲18	▲9	▲27	▲36

概況

調査先製造業全体の業況を前年同期(21年10~12月)と比較してみますと、売上で「増加」した先39%、「変わらず」の先25%、「減少」した先36%で、そのD I値(増加割合-減少割合)は3となり、前回調査と同じでした。

収益は「増加」した先19%、「変わらず」の先46%、「減少」した先35%で、そのD I値(増加割合-減少割合)は▲16となり、前回調査より13ポイント悪化しました。

調査回答数(前年同期比)

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(22/9)	12	8	11	3
	今回(22/12)	12	8	11	3
収益	前回(22/9)	10	10	11	▲3
	今回(22/12)	6	14	11	▲16

動向

【前年同期との比較】

売上は横ばい、収益は悪化しました。

内訳をみますと、建設関連・その他は改善し、食料品・木材製品は悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益ともに悪化しました。

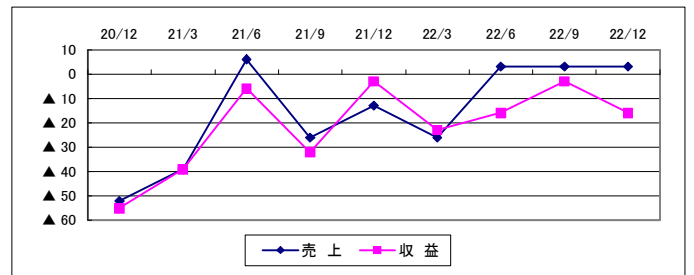
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「中国製品の品薄が解消された」、「ウッドショックの影響により販売価格が高水準を維持し、順調に推移してきたが、今後は建築需要の低下が見込まれ、販売量減少や価格下落が懸念される」といったものがありました。また、コロナ禍における各種制約の解除・緩和により売上は回復傾向にあるものの、エネルギーや原材料の価格高騰が続いており、販売価格への転嫁に苦慮しているといった内容のコメントが多数寄せられました。

前年同期比

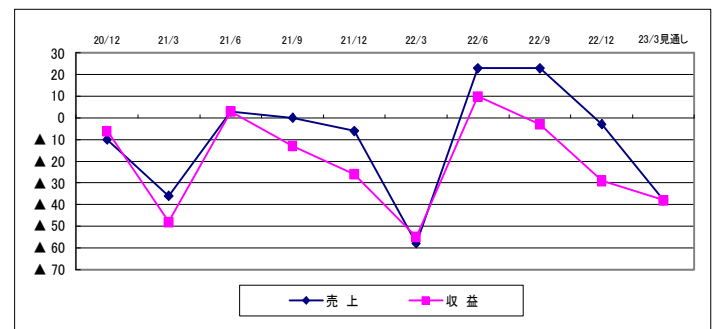
D I値図表



調査時期	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12
売上	▲52	▲39	6	▲26	▲13	▲26	3	3	3
収益	▲55	▲39	▲6	▲32	▲3	▲23	▲16	▲3	▲16

直前3ヵ月比

D I値図表



調査時期	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3見通し
売上	▲10	▲36	3	0	▲6	▲58	23	23	▲3	▲38
収益	▲6	▲48	3	▲13	▲26	▲55	10	▲3	▲29	▲38

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	食料品	木材製品	建設関連	その他
売上額	7月~9月と比較	▲3	25	▲50	0	40
	1月~3月の見通し	▲38	▲25	▲60	▲12	▲60
収益	7月~9月と比較	▲29	0	▲60	▲38	0
	1月~3月の見通し	▲38	▲25	▲60	▲25	▲40
販売価格	7月~9月と比較	16	25	30	0	0
	1月~3月の見通し	6	25	▲20	0	40
原材料価格	7月~9月と比較	68	75	50	75	80
	1月~3月の見通し	49	75	10	63	60
原材料在庫	7月~9月と比較	6	0	0	0	40
	1月~3月の見通し	0	0	0	▲13	20
資金繰	7月~9月と比較	▲3	0	▲10	0	0
	1月~3月の見通し	▲23	0	▲50	▲13	▲20

概況

調査先卸売業全体の業況を前年同期(21年10~12月)と比較してみますと、売上で「増加」した先36%、「変わらず」の先46%、「減少」した先18%で、そのD I値(増加割合-減少割合)は18となり、前回調査より4ポイント改善しました。

収益は「増加」した先27%、「変わらず」の先51%、「減少」した先22%で、そのD I値(増加割合-減少割合)は5となり、前回調査より10ポイント改善しました。

販売価格は「増加」した先64%、「変わらず」の先31%、「減少」した先5%で、そのD I値(増加割合-減少割合)は59となり、前回調査より14ポイント下降しました。

調査回答数(前年同期比)

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(22/9)	6	13	3	14
	今回(22/12)	8	10	4	18
収益	前回(22/9)	4	13	5	▲5
	今回(22/12)	6	11	5	5
販売価格	前回(22/9)	17	4	1	73
	今回(22/12)	14	7	1	59

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに改善し、販売価格は下降しました。

内訳をみますと、売上は食料品・その他が改善しています。収益はほぼ横ばい、販売価格は建設関連・その他が下降しています。

【直前3ヵ月との比較】

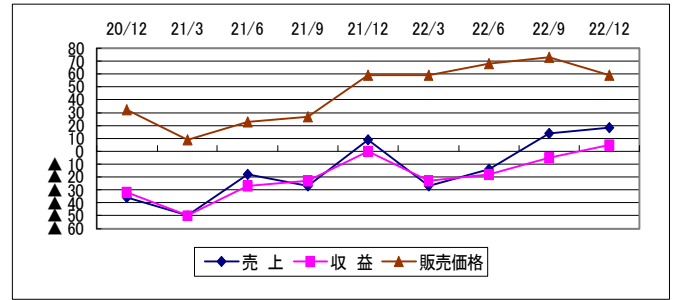
売上は悪化、収益は改善、販売価格は下降しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益ともに悪化し、販売価格は下降する見通しです。

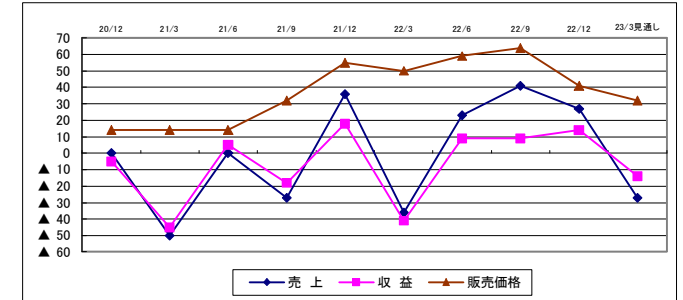
調査員のコメントには、「ふるさと納税関連の売上が増加している」、「販売価格への転嫁は順調に進んでいる」、仕入価格に加えて運送費、光熱費も上昇しており、利益はひっ迫している」といったものがありました。

前年同期比 DI値図表



調査時期	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12
売上	▲36	▲50	▲18	▲27	9	▲27	▲14	14	18
収益	▲32	▲50	▲27	▲23	0	▲23	▲18	▲5	5
販売価格	32	9	23	27	59	59	68	73	59

直前3ヵ月比 DI値図表



調査時期	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3見通し
売上	0	▲50	0	▲27	36	▲36	23	41	27	▲27
収益	▲5	▲45	5	▲18	18	▲41	9	9	14	▲14
販売価格	14	14	14	32	55	50	59	64	41	32

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	食料品	建設関連	その他
売上額	7月~9月と比較	27	67	11	14
	1月~3月の見通し	▲27	▲17	▲67	14
収益	7月~9月と比較	14	33	11	0
	1月~3月の見通し	▲14	0	▲45	14
販売価格	7月~9月と比較	41	50	33	43
	1月~3月の見通し	32	50	22	29
仕入価格	7月~9月と比較	50	33	33	86
	1月~3月の見通し	41	33	33	57
在庫	7月~9月と比較	27	17	33	29
	1月~3月の見通し	18	0	33	14
資金繰	7月~9月と比較	▲5	0	0	▲14
	1月~3月の見通し	▲5	0	0	▲14

概況

調査先小売業全体の業況を前年同期（21年10～12月）と比較してみますと、売上で「増加」した先24%、「変わらず」の先32%、「減少」した先44%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲20となり、前回調査より13ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先20%、「変わらず」の先31%、「減少」した先49%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲29となり、前回調査より5ポイント悪化しました。

販売価格は「増加」した先51%、「変わらず」の先42%、「減少」した先7%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は44となり、前回調査より7ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(22/9)	11	16	14	▲7
	今回(22/12)	10	13	18	▲20
収益	前回(22/9)	8	15	18	▲24
	今回(22/12)	8	13	20	▲29
販売価格	前回(22/9)	23	16	2	51
	今回(22/12)	21	17	3	44

動向

【前年同期との比較】

売上、収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。内訳をみましても全般的に悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

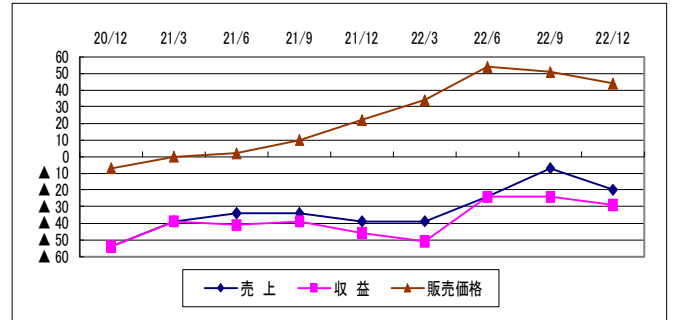
売上、収益ともに悪化し、販売価格は下降しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上は悪化、収益は改善し、販売価格は下降する見通しです。

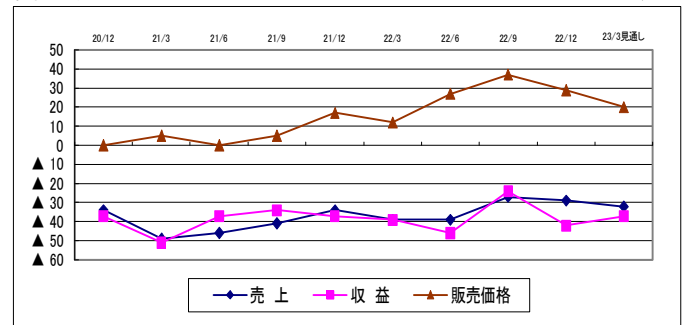
調査員のコメントには、「マスク着用の影響で低迷していた化粧品の売上が回復傾向にある」、「新車の需要は旺盛だが納期長期化が続いている」、「新車生産サイクル停滞の影響で中古車価格も上昇している」、「格安業態への顧客流出が続いている」といったものがありました。

前年同期比 D I値図表



調査時期	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12
売上	▲54	▲39	▲34	▲34	▲39	▲39	▲24	▲7	▲20
収益	▲54	▲39	▲41	▲39	▲46	▲51	▲24	▲24	▲29
販売価格	▲7	0	2	10	22	34	54	51	44

直前3ヵ月比 D I値図表



調査時期	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3見通し
売上	▲34	▲49	▲46	▲41	▲34	▲39	▲39	▲27	▲29	▲32
収益	▲37	▲51	▲37	▲34	▲37	▲39	▲46	▲24	▲42	▲37
販売価格	0	5	0	5	17	12	27	37	29	20

直前3ヵ月比調査の業種別状況(D I値による) (%)

項目	全体	衣料品	食料品	その他	
売上額	7月～9月と比較	▲29	▲33	▲53	▲10
	1月～3月の見通し	▲32	▲50	▲40	▲20
収益	7月～9月と比較	▲42	▲33	▲60	▲30
	1月～3月の見通し	▲37	▲50	▲47	▲25
販売価格	7月～9月と比較	29	33	47	15
	1月～3月の見通し	20	17	27	15
仕入価格	7月～9月と比較	54	83	60	40
	1月～3月の見通し	51	50	53	50
在庫	7月～9月と比較	2	0	0	5
	1月～3月の見通し	▲7	▲17	▲20	5
資金繰	7月～9月と比較	▲24	▲33	▲20	▲25
	1月～3月の見通し	▲29	▲33	▲33	▲25

概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（21年10～12月）と比較してみると、売上で「増加」した先20%、「変わらず」の先40%、「減少」した先40%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲20となり、前回調査より11ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先11%、「変わらず」の先41%、「減少」した先48%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲37となり、前回調査と同じでした。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(22/9)	7	18	10	▲9
	今回(22/12)	7	14	14	▲20
収益	前回(22/9)	4	14	17	▲37
	今回(22/12)	4	14	17	▲37

動向

【前年同期との比較】

売上は悪化し、収益は横ばいでした。

内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回▲25→今回▲42
- ・ 同 収益：前回▲50→今回▲42
- ・ 建築売上：前回▲12→今回▲18
- ・ 同 収益：前回▲41→今回▲59

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

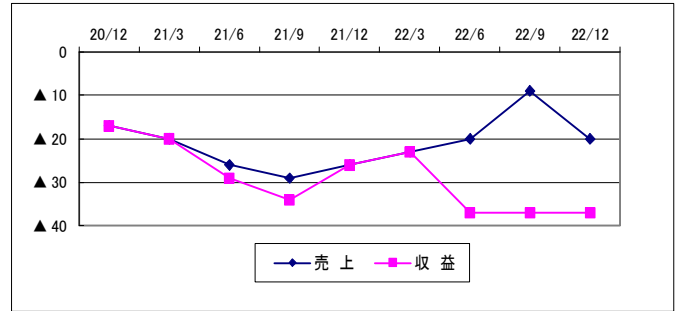
【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化の見通しです。

調査員のコメントには、「札幌に新たな拠点を構え、受注増加を見込んでいる」、「新築住宅の需要は堅調であり、来年への持越し案件も複数抱えている」、「ウッドショックの影響は継続しており、資材価格の上昇も続いている」といったものがありました。

前年同期比

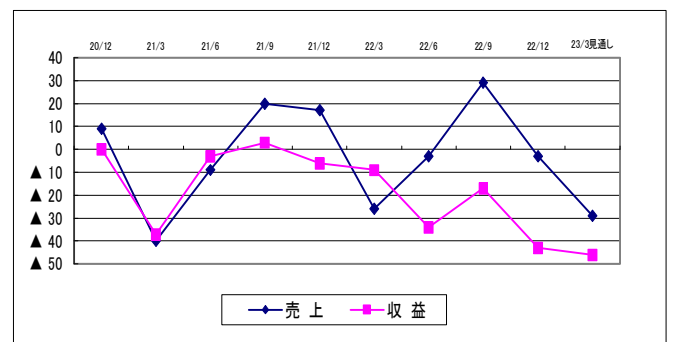
D I 値図表



調査時期	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12
売上	▲17	▲20	▲26	▲29	▲26	▲23	▲20	▲9	▲20
収益	▲17	▲20	▲29	▲34	▲26	▲23	▲37	▲37	▲37

直前3ヵ月比

D I 値図表



調査時期	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3見通し
売上	9	▲40	▲9	20	17	▲26	▲3	29	▲3	▲29
収益	0	▲37	▲3	3	▲6	▲9	▲34	▲17	▲43	▲46

直前3ヵ月比調査の業種別状況(D I 値による) (%)

項目		全体	土木	建築	その他
売上額	7月～9月と比較	▲3	▲8	▲6	17
	1月～3月の見通し	▲29	▲25	▲35	▲17
施工高	7月～9月と比較	6	9	0	17
	1月～3月の見通し	▲20	▲17	▲29	0
収益	7月～9月と比較	▲43	▲42	▲59	0
	1月～3月の見通し	▲46	▲42	▲59	▲17
請負価格	7月～9月と比較	26	25	24	33
	1月～3月の見通し	20	17	18	33
材料価格	7月～9月と比較	80	92	77	67
	1月～3月の見通し	74	83	82	33
在庫	7月～9月と比較	3	0	6	0
	1月～3月の見通し	6	0	12	0
資金繰	7月～9月と比較	▲3	0	▲6	0
	1月～3月の見通し	▲3	0	▲6	0

概況

調査先サービス業全体の業況を前年同期（21年10～12月）と比較してみますと、売上で「増加」した先21%、「変わらず」の先46%、「減少」した先33%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲12となり、前回調査より18ポイント悪化しました。

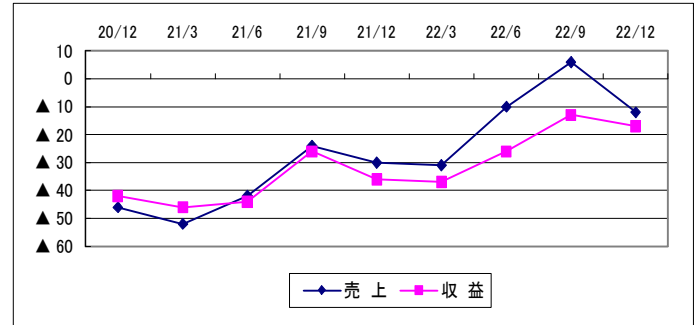
収益は「増加」した先17%、「変わらず」の先49%、「減少」した先34%で、そのDI値（増加割合－減少割合）は▲17となり、前回調査より4ポイント悪化しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	DI値
売上	前回(22/9)	18	19	15	6
	今回(22/12)	11	24	17	▲12
収益	前回(22/9)	12	21	19	▲13
	今回(22/12)	9	25	18	▲17

前年同期比

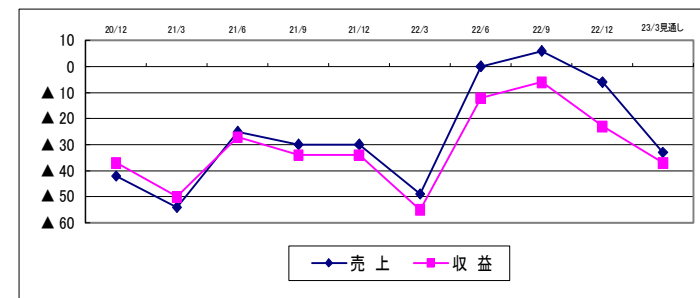
DI値図表



調査時期	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12
売上	▲46	▲52	▲42	▲24	▲30	▲31	▲10	6	▲12
収益	▲42	▲46	▲44	▲26	▲36	▲37	▲26	▲13	▲17

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	20/12	21/3	21/6	21/9	21/12	22/3	22/6	22/9	22/12	23/3見通し
売上	▲42	▲54	▲25	▲30	▲30	▲49	0	6	▲6	▲33
収益	▲37	▲50	▲27	▲34	▲34	▲55	▲12	▲6	▲23	▲37

動向

【前年同期との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

内訳をみますと、車両関係が大きく悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上・収益ともに悪化しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上・収益ともに悪化する見通しです。

調査員のコメントには、「仕入価格は上昇したが、適正に価格転嫁できている」、「仕入先変更により仕入れコストを削減できた」、「新メニューの取扱開始により売上増加している」、「出張やスポーツ関連の需要が回復しているが、今後の感染再拡大が不安」、「夏に値上げを実施したが、その後も仕入価格高騰が続いているため更なる値上げを検討している」といったものがありました。

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項目		全体	理容美容	車両関係	その他
売上額	7月～9月と比較	▲6	▲11	▲27	7
	1月～3月の見通し	▲33	▲22	▲53	▲25
収益	7月～9月と比較	▲23	▲33	▲27	▲18
	1月～3月の見通し	▲37	▲33	▲53	▲29
料金価格	7月～9月と比較	15	0	13	21
	1月～3月の見通し	17	11	20	18
材料価格	7月～9月と比較	62	45	80	57
	1月～3月の見通し	56	45	80	46
資金繰	7月～9月と比較	▲19	▲22	▲27	▲14
	1月～3月の見通し	▲23	▲33	▲33	▲14

経営上の問題点 【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	原材料高 74.2%	売上の停滞・減少 38.7%	利幅の縮小 32.3%
卸売業	売上の停滞・減少 45.5%	利幅の縮小 40.9%	同業者間の競争の激化 22.7%
小売業	売上の停滞・減少 56.1%	利幅の縮小 29.3%	仕入先からの値上げ要請 29.3%
建設業	材料価格の上昇 82.9%	人手不足 68.6%	売上の停滞・減少 37.1%
サービス業	材料価格の上昇 46.2%	売上の停滞・減少 28.8%	人手不足 23.1%

経営施策 【複数回答】

	1位	2位	3位
製造業	経費を節減する 61.3%	販路を広げる 48.4%	新製品・技術を開発する 29.0%
卸売業	経費を節減する 59.1%	販路を広げる 54.5%	情報力を強化する 50.0%
小売業	経費を節減する 56.1%	売れ筋商品を取扱う 39.0%	人材を確保する 26.8%
建設業	人材を確保する 57.1%	経費を節減する 45.7%	販路を広げる 37.1%
サービス業	経費を節減する 44.2%	販路を広げる 30.8%	人材を確保する 25.0%

【調査要領】

1. 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
2. 調査時点 2022年12月
2022年10月～12月期の実績および見込み
2023年1月～3月期の見通し
3. 調査対象企業 当金庫お取引先181社（任意抽出）
回答企業数 181社
回答率 100%
4. 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
5. 業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合計
31	22	41	35	52	181

6. 分析方法 各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（DI値）」で分析を行いました。

企業の経理事務を便利にサポート
インターネットバンキング
WEB-FB

- 総合振込 ■給与・賞与振込 ■都度振込 ■口座振替 ■入出金明細照会 ■残高照会

低コスト！

インターネットが使える環境さえあれば、すぐにご利用が可能です。
 専用ソフト、専用端末などに余計な経費をかけません。

効率的！

総合振込、給与・賞与振込、都度振込、口座振替業務がインターネット経由でスピーディにご利用いただけます。
 振込や振替のデータは外部ファイルから取り込むこともできます。

便利！

登録先の口座以外でも当日振込が可能です。急な振込がオフィスのパソコンから随時できるので便利。
 また、振込完了や為替エラーなど、重要な連絡を電子メールでタイムリーにお知らせします。

安心！

一般者用ID、承認者用ID、管理者用IDの3つのIDで権限設定が可能です。
 登録したデータの承認を貴社の管理者がダイレクトにできるため、厳密なチェックが可能です。
 電子証明書とワンタイムパスワードにより、安全にご利用いただけます。

オホーツク圏経済情勢報告（令和4年10月判断）概況

	前回(4年7月判断)	今回(4年10月判断)	前回比較	総括判断の要点
総括判断	原材料価格上昇等の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	物価上昇等の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある 【判断の据え置きは、令和3年11月判断以来、4期ぶり】	⇒	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。 観光は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。 また、雇用は、持ち直しの動きがみられる。

	前回(4年7月判断)	今回(4年10月判断)	前回比較
個人消費	原材料価格上昇等の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	⇒
観光	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	⇒
雇用	緩やかに持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	⇒
公共事業	前年を下回る	前年を上回る	⇒
住宅着工	前年を下回る	前年を下回る	⇒

先行き	先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
-----	---